



2021年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2021年2月3日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社カカコム

コード番号 2371 URL <https://corporate.kakaku.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 畑 彰之介

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理本部長 (氏名) 白川 聖明 TEL 03-5725-4554

四半期報告書提出予定日 2021年2月9日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト向け）

(百万円未満四捨五入)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	37,768	△16.5	13,469	△35.5	13,116	△36.1	8,779	△37.2	8,889	△36.4	8,823	△36.2
2020年3月期第3四半期	45,256	13.5	20,885	14.8	20,534	13.8	13,983	15.4	13,979	15.7	13,828	13.9

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	43.18	43.15
2020年3月期第3四半期	67.04	67.01

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	68,221	44,163	43,879	64.3
2020年3月期	63,317	43,303	42,909	67.8

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	-	20.00	-	20.00	40.00
2021年3月期	-	20.00	-	-	-
2021年3月期（予想）	-	-	-	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大による影響を合理的に算定することが現時点においては困難なことから、引き続き未定としております。業績予想の開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2021年3月期3Q	206,705,000株	2020年3月期	206,705,000株
2021年3月期3Q	748,258株	2020年3月期	836,558株
2021年3月期3Q	205,885,986株	2020年3月期3Q	208,514,882株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大による影響を合理的に算定することが現時点においては困難なことから、引き続き未定としております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書	7
(3) 要約四半期連結包括利益計算書	8
(4) 要約四半期連結持分変動計算書	9
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	13
(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	15
(継続企業の前提に関する注記)	15
(重要な後発事象)	15

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の経営成績は、次のとおりであります。

売上収益は37,768百万円(前年同期比16.5%減)となりました。これは主として、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い人々の移動を伴う経済活動や企業の活動が引き続き制限される中で、価格.com事業のショッピング事業及びファイナンス事業において売上が増加した一方、価格.com事業のサービス事業、食ベログ事業及び新興メディア・ソリューション事業における旅行・移動領域の各事業における売上が減少したことによるものであります。

営業利益は13,469百万円(前年同期比35.5%減)となりました。これは主として、売上収益の減少並びに人件費、外注費、家賃及び広告宣伝費の増加によるものであります。

税引前四半期利益は13,116百万円(前年同期比36.1%減)となりました。これは主として、営業利益の減少及び持分法による投資の減損損失の計上によるものであります。

親会社の所有者に帰属する四半期利益は8,889百万円(前年同期比36.4%減)となりました。

セグメントの業績(内部取引消去後)は、次のとおりであります。

① インターネット・メディア事業

当第3四半期連結累計期間のインターネット・メディア事業の売上収益は35,975百万円(前年同期比17.6%減)、セグメント利益は13,064百万円(前年同期比35.8%減)となりました。

[価格.com]

当第3四半期連結累計期間の売上収益は17,365百万円(前年同期比1.9%減)となりました。

ショッピング事業は、在宅勤務/巣ごもり需要及びEC利用の拡大により売上が増加しました。サービス事業は、主に通信領域における海外Wi-Fiレンタルの需要消失を受け売上が減少しました。広告事業は、延期又は中止されていた広告出稿が第2四半期連結会計期間以降において徐々に回復しつつあるものの、売上は前年を下回る水準で推移しました。

その結果、ショッピング事業の売上収益は7,635百万円(前年同期比10.1%増)、サービス事業の売上収益は6,441百万円(前年同期比11.2%減)、広告事業の売上収益は3,289百万円(前年同期比6.3%減)となりました。

2020年12年度の月間利用者数(※1)は6,715万人となりました。

[食ベログ]

当第3四半期連結累計期間の売上収益は13,598百万円(前年同期比31.5%減)となりました。

飲食店販促事業は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う1回目の緊急事態宣言が2020年5月に解除された後、徐々に回復していた外食需要が、Go To Eatキャンペーンの10月開始により大きく拡大し、当第3四半期連結累計期間のネット予約人数は2,335万人(前年同期比48.5%増)となりました。また、同キャンペーンに伴い有料プラン契約店舗数は12月末日時点で59,900店舗となりました。

ユーザー会員事業は有料サービス加入者数の減少、広告事業は広告出稿の延期及び中止により、それぞれ売上が減少しました。

その結果、飲食店販促事業の売上収益は10,024百万円(前年同期比38.0%減)、ユーザー会員事業の売上収益は1,284百万円(前年同期比28.2%減)、広告事業の売上収益は1,433百万円(前年同期比24.7%減)、業務受託の売上収益(※2)は858百万円となりました。

2020年12年度の月間利用者数(※1)は11,113万人となりました。

[新興メディア・ソリューション]

当第3四半期連結累計期間の売上収益は5,011百万円(前年同期比18.1%減)となりました。

旅行・移動領域のサービス及び一部の娯楽・趣味領域における外出を伴うサービスは、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け依然として厳しい状況にあります。一方で、『求人ボックス』及び『スマイティ』は引き続き売上が増加しました。

② ファイナンス事業

当第3四半期連結累計期間のファイナンス事業の売上収益は1,794百万円(前年同期比13.4%増)、セグメント利益は401百万円(前年同期比23.2%減)となりました。

(株)カカコム・インシュアランスが運営する『価格.com保険』は主にオンラインによる保険契約の申込が増加したことにより手数料収入が増加しました。

※1 月間利用者数とは、サイトを訪れた人をブラウザベースで数えた人数であり、1か月の間に複数回訪問した人も1人と数えた場合の正味の人数です。なお、モバイル端末のウェブページ高速表示に伴い、月間利用者数の計測において一部重複が発生していましたが、2018年9月より重複を除外する集計方法に変更しています。また、第三者による自動収集プログラムなどの機械的なアクセスについては可能な限り排除して計測しておりますが、一部は月間利用者数に含まれている可能性があります。

※2 Go To Eatキャンペーン事業(農林水産省)及び大阪府 少人数利用 飲食店応援キャンペーン事業(大阪府)の受託による収入を指しております。ただし、両事業の受託による広告宣伝に係る収入(広告事業に計上)は含まれておりません。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態に関する分析

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は68,221百万円となり、前連結会計年度末と比較し4,904百万円増加いたしました。これは主に、持分法で会計処理されている投資が420百万円減少した一方で、その他の流動資産が3,662百万円、営業債権及びその他の債権が539百万円、使用権資産が492百万円、その他の金融資産(非流動)が418百万円それぞれ増加したことによるものであります。

(負債)

負債合計は24,058百万円となり、前連結会計年度末と比較し4,044百万円増加いたしました。これは主に、未払法人所得税が3,778百万円減少した一方で、その他の金融負債(流動)が4,130百万円、その他の流動負債が3,279百万円、社債及び借入金が418百万円それぞれ増加したことによるものであります。

(資本)

資本合計は44,163百万円となり、前連結会計年度末と比較し860百万円増加いたしました。これは主に、剰余金の配当8,235百万円を計上した一方で、親会社の所有者に帰属する四半期利益8,889百万円を計上したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末と比べ176百万円減少し、29,328百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は11,109百万円(前年同期は14,975百万円の収入)となりました。

これは主に、法人所得税の支払額8,315百万円、営業債権及びその他の債権の増加539百万円を計上した一方で、税引前四半期利益13,116百万円、その他の金融負債の増加4,130百万円、減価償却費及び償却費2,653百万円を計上したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動に使用した資金は1,924百万円(前年同期は3,109百万円の支出)となりました。

これは主に、サーバーで使用するソフトウェアの購入等の無形資産の取得による支出が1,232百万円、投資有価証券の取得による支出が546百万円、有形固定資産の取得による支出が414百万円あったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動に使用した資金は9,362百万円(前年同期は16,346百万円の支出)となりました。

これは主に、短期借入金の純増減額が450百万円の増加となった一方で、配当金の支払による支出が8,231百万円、リース負債の返済による支出が1,723百万円あったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症の再拡大により2021年1月に再び緊急事態宣言が発出されるなど厳しい環境が続いており、依然として先行きが不透明な状況となっております。このため、2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大による影響を合理的に算定することが現時点においては困難なことから、引き続き未定としております。業績予想の開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	29,504	29,328
営業債権及びその他の債権	8,394	8,934
その他の金融資産	76	253
その他の流動資産	1,141	4,804
流動資産合計	39,115	43,318
非流動資産		
有形固定資産	2,489	2,466
使用権資産	7,947	8,439
のれん及び無形資産	7,057	7,155
持分法で会計処理されている投資	2,536	2,116
その他の金融資産	3,407	3,826
繰延税金資産	722	795
その他の非流動資産	45	107
非流動資産合計	24,201	24,903
資産合計	63,317	68,221

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	2,719	2,697
社債及び借入金	443	861
その他の金融負債	186	4,316
未払法人所得税	4,619	841
リース負債	1,514	1,377
従業員給付に係る負債	1,493	1,482
その他の流動負債	1,903	5,181
流動負債合計	12,877	16,755
非流動負債		
社債及び借入金	124	124
リース負債	6,293	6,355
引当金	474	557
その他の非流動負債	246	269
非流動負債合計	7,137	7,304
負債合計	20,014	24,058
資本		
資本金	916	916
資本剰余金	464	463
利益剰余金	43,515	44,158
自己株式	△2,196	△1,964
その他の資本の構成要素	210	306
親会社の所有者に帰属する持分合計	42,909	43,879
非支配持分	394	284
資本合計	43,303	44,163
負債及び資本合計	63,317	68,221

(2) 要約四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上収益	45,256	37,768
営業費用	24,388	24,345
その他の収益	22	78
その他の費用	4	33
営業利益	20,885	13,469
金融収益	21	138
金融費用	42	67
持分法による投資損益	△330	△115
持分法による投資の減損損失	—	308
税引前四半期利益	20,534	13,116
法人所得税費用	6,551	4,336
四半期利益	13,983	8,779
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	13,979	8,889
非支配持分	4	△110
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	67.04	43.18
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	67.01	43.15

(3) 要約四半期連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期利益	13,983	8,779
その他の包括利益(税効果控除後)		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の公正価値の純変動	△156	39
純損益に振り替えられることのない項目合計	△156	39
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	4	0
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	△3	4
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	1	4
その他の包括利益(税効果控除後)	△155	43
四半期包括利益	13,828	8,823
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	13,824	8,932
非支配持分	4	△110

(4) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式
期首残高	916	464	40,490	△1,750
会計方針の変更の影響	—	—	△3	—
会計方針の変更を反映した期首残高	916	464	40,487	△1,750
四半期利益	—	—	13,979	—
その他の包括利益	—	—	—	—
四半期包括利益合計	—	—	13,979	—
剰余金の配当	—	—	△7,929	—
自己株式の取得及び処分	—	6	—	△4,430
株式報酬取引	—	—	—	—
その他	—	△2	△4	—
所有者との取引額合計	—	5	△7,934	△4,430
期末残高	916	468	46,533	△6,181

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						合計	非支配 持分	資本合計
	その他の資本の構成要素								
	その他の 包括利益を 通じて 公正価値で 測定する 金融資産の 公正価値の 純変動	在外営業 活動体の 換算差額	持分法適用会 社におけるそ の他の包括利 益に対する持 分	新株 予約権	その他の 資本の 構成要素 合計				
期首残高	254	△4	1	168	419	40,538	403	40,941	
会計方針の変更の影響	—	—	—	—	—	△3	—	△3	
会計方針の変更を反映した期首残高	254	△4	1	168	419	40,535	403	40,938	
四半期利益	—	—	—	—	—	13,979	4	13,983	
その他の 包括利益	△156	4	△3	—	△155	△155	0	△155	
四半期包括利益合計	△156	4	△3	—	△155	13,824	4	13,828	
剰余金の配当	—	—	—	—	—	△7,929	—	△7,929	
自己株式の 取得及び処分	—	—	—	△49	△49	△4,473	—	△4,473	
株式報酬取引	—	—	—	95	95	95	—	95	
その他	4	—	—	—	4	△2	—	△2	
所有者との取引額合計	4	—	—	46	50	△12,309	—	△12,309	
期末残高	103	△1	△2	213	313	42,050	407	42,457	

当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式
期首残高	916	464	43,515	△2,196
四半期利益	-	-	8,889	-
その他の 包括利益	-	-	-	-
四半期包括利益合計	-	-	8,889	-
剰余金の配当	-	-	△8,235	-
自己株式の 取得及び処分	-	-	△11	232
株式報酬取引	-	-	-	-
その他	-	△1	-	-
所有者との取引額合 計	-	△1	△8,246	232
期末残高	916	463	44,158	△1,964

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	非支配 持分	資本合計
	その他の資本の構成要素							
	その他の 包括利益を 通じて 公正価値で 測定する 金融資産の 公正価値の 純変動	在外営業 活動体の 換算差額	持分法適用会 社におけるそ の他の包括利 益に対する持 分	新株 予約権	その他の 資本の 構成要素 合計			
期首残高	△7	△15	△6	238	210	42,909	394	43,303
四半期利益	—	—	—	—	—	8,889	△110	8,779
その他の 包括利益	39	0	4	—	43	43	0	43
四半期包括利益合計	39	0	4	—	43	8,932	△110	8,823
剰余金の配当	—	—	—	—	—	△8,235	—	△8,235
自己株式の 取得及び処分	—	—	—	△43	△43	177	—	177
株式報酬取引	—	—	—	95	95	95	—	95
その他	—	—	—	1	1	△0	—	△0
所有者との取引額合 計	—	—	—	53	53	△7,963	—	△7,963
期末残高	32	△15	△2	291	306	43,879	284	44,163

(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	20,534	13,116
営業活動によるキャッシュ・フローへの調整		
減価償却費及び償却費	2,244	2,653
受取利息及び受取配当金	△20	△4
営業債権及びその他の債権の増減(△は増加)	△611	△539
営業債務及びその他の債務の増減(△は減少)	△38	107
その他の金融負債の増減(△は減少)	351	4,130
その他	557	△9
小計	23,017	19,453
利息及び配当金の受取額	10	7
利息の支払額	△13	△36
法人所得税の支払額	△8,039	△8,315
営業活動によるキャッシュ・フロー	14,975	11,109
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△876	△414
無形資産の取得による支出	△1,088	△1,232
投資有価証券の取得による支出	△681	△546
敷金及び保証金の差入による支出	△464	△91
その他	2	360
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,109	△1,924

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	100	450
長期借入金の返済による支出	△148	△32
長期借入金の借入による収入	150	—
リース負債の返済による支出	△641	△1,723
自己株式の取得による支出	△8,000	—
配当金の支払による支出	△7,925	△8,231
ストック・オプションの行使による収入	118	177
その他	—	△4
財務活動によるキャッシュ・フロー	△16,346	△9,362
現金及び現金同等物に係る為替変動の影響額	4	1
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△4,476	△176
現金及び現金同等物の期首残高	26,422	29,504
現金及び現金同等物の四半期末残高	21,946	29,328

(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。